

2012年12月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールバール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

学術講演会(会員発表)
「歯科用レーザーの臨床」

H24.10.31

HP

今回の会員発表では、現代の歯科臨床には不可欠ともいえる歯科用レーザーに関して、この分野のパイオニアともいえる岡田修二先生に御登壇頂いた。

歯科用レーザーは現在四種類に大別されるが、どのレーザーが最も効果的か？という議論はすでに終了していると言える。なぜなら、それぞれが有する波長の特性を理解することで、治療目的や照射対象が明確に区別されているからである。この四種類のうち最も長い波長を有するものが炭酸ガス(CO₂)レーザーであり、次いでEr:YAG、Nd:YAGと続き、最も短い波長を有するものが半導体レーザーとなる。波長の違いは、水への吸収性の違いとして現れ、長い波長を有するほど水へ吸収されやすい。これに対し波長の短いものは表面で吸収されず深部まで浸透していく性質があるが、波長が短いとDNA吸収・変性などの危険性が高まることが知られている。しかし、エックス線や紫外線と比較し、歯科用レーザーは圧倒的に

波長が長いので、いずれも生体にとっては安全であるといえる。また、レーザー治療では重大な失敗という事が生じにくく、あるとすれば効果が得られないということになるが、原因のほとんどは照射不足に起因すると考えられるため、勇気を持って確実に使用することが一つのポイントといえる。もう一つのポイントとして、「生体は弱い刺激に対して活性化され、その活性化現象は、刺激が強くなるにつれ増大するが、ある閾値に達すると生体の反応は逆に抑制され、さらに刺激を強くすると反応を停止する」というアーシユルツの法則を例に挙げ、生体は全く一様なものではないため、レシピに乗っ取った方法を行うのではなく、レシピを捨て、原理・根本に立ち返って、日々の臨床に臨むことが重要であるということを強調された。また今回は岡田先生の日常臨床で最も活躍の場が多い、CO₂レーザーにトピックを絞り詳しく解説頂いた。



高反応レベルレーザーであるが、近年注目を集めているのは、低反応レベル領域におけるデフォーカス照射と呼ばれる使用法である。CO₂レーザーによる生体側の反応としては、高反応レベル層は深さ100〜200ミクロンの間で、炭化層・蒸化層・血液凝固層・タンパク変性層に分かれるため、臨床における組織の蒸散・切開・滅菌・パックおよび止血に応用が可能となる。これに対して低反応レベル層は、深さ7〜8ミリの間での組織活性化、いわゆる遠赤外線効果が期待され、痛みに対する効果、治癒の促進に対する効果、炎症の消退に対する効果が同時に得られると考えられており、これは他の機器にはないレーザー治療の最大の特徴であるといえる。その他に骨芽細胞および修復象牙質の活性化も期待できるとのことである。

後半は、レーザー治療が効果的である代表的な症例をピックアップし、動画を交えながら詳細に解説を頂いた。症例は、急性症状を伴う歯肉炎、線維性の歯肉腫脹、アプセスを伴うポケット内病変、前歯部領域のメラニン除去、舌尖の線維腫、口唇の血管腫、小帯切除・前庭拡張、インプラント周囲の結合組織形成およびインプラントのフラップレス埋入などであり、いずれの治療においても術中術後の疼痛および出血が少なく、治癒の速さおよび美しさも素晴らしいものであった。さらに、抜歯後の止血では、同時に疼痛を回避し、骨形成が促進されるという大きなメリットを有しており、豚顎を用いたデモンストレーションで、実際にレーザーを照射しながら、血餅を積層させる先生独自のテクニックを紹介頂いた。

今回の発表は、レーザーの原理・原則から使い分け、さらに、すぐにでも役立つ臨床テクニックまで、大変わかりやすいスライドならびにデモンストレーションで解説頂き、五〇名を超える参加者にとって非常に有意義な会員発表となった。

(学術部・奥野幾久記)

パノラマ

一九八〇年代の米国は、今の日本のように競争力が低下した状況でした。そのため、問題点や根本原因を追求する研究が行われました。その中の一つがマルコム・ボルドリッジの経営品質です。経営品質は世界中のうまくいっている組織の実践事例を参考に、産学官の三千名の有識者を集めた三年間の議論の末、大統領が直接表彰する制度として誕生しました。品質の高い優れた製品・サービスを生み出すには、そのものの問題対応だけでは不十分で、企業の風土や働く社員の意識に大きく影響されます。日本ではトヨタやホンダなどの一流企業でも受賞できていませんが、リッツカールトンなどの一部企業が受賞しています。顧客満足度を上げるには、従業員満足度を高める必要があります。売り上げはそれに付いてくるものだとされています。経営品質の特徴は、業種や業態を超えて学習することができ、ことや時代の要請にあわせて変更していく、という点です。歯科でも経営品質を高めて国民に支持されるよう心がけていきたいものです。(一)

大阪府歯科医師会

七支部役員懇談会

(北区北支部・北区大淀支部・東淀川区支部・淀川区支部・西淀川区支部・此花区支部・福島区支部)

H24.10.16

一〇月一六日(火)午後六時より府歯大ホールに於いて大阪府歯科医師会役員と隣接七支部(淀川区支部・北区北支部・北区大淀支部・福島区支部・此花区支部・東淀川区支部・西淀川区支部)役員懇談会が行われた。当支部からは執行部役員、監事、連盟支部長、国保支部長が出席した。

河村達也府歯理事司会のもと、最初に太田謙司府歯会長が挨拶(詳細は大阪歯界広報参照)に立ち、皆保険制度の重要性と今後も制度を崩壊させるような力に對し引き続き阻止し、守っていくことを述べられた。続いて安田共美西淀川区支部長が挨拶を行った。

出席者紹介が行われた後、質疑応答に移った。

Q・未入会と入会金・新入会員の減少と会員の高齢化に伴う終身会員の取り扱いについて(佐々木久幸此花区支部長)

A・大歯大で本年度の新研修医オリエンテーション時に歯科医師会の地域歯科医療における役割と位置を述べ、歯科医師会への入会の重要性を説明。阪大でも同様の講習をお願いしている。歯科関係業者に入会は当然のものとしてほしい旨を要



べ、歯科医師会への入会の重要性を説明。阪大でも同様の講習をお願いしている。歯科関係業者に入会は当然のものとしてほしい旨を要請。入会勧奨パンフレットを作成し、デンタルショーでも配布を予定している。日歯は来年度より入会金を一万円とする。府歯でも新法人移行を機に減額を検討している。支部でも入会のハードルを下げる方向が望ましいと願っている。

新入会員減、終身会員増による会費収入減を考えると終身会員にも新法人移行時にいくばくかの負担をお願いすることを検討。(牧野専務理事)



Q・歯科口腔保健法について(森光示淀川区支部専務理事)

A・七月に「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」について大臣告知があった。ここでは、口腔の保健維持・増進に関する健康格差の縮小や歯科疾患の予防、生活の質の向上への口腔機能の維持など五つの基本方針に基づいて一〇年間の目標や計画を策定する事を最優先としている。今後具体的な施策等が出るものと期待している。大阪府との折衝では当然条例制定にも力を注いでいるが、「歯科口腔保健計画」を策定するために、議論している。大阪市に対しても、早期に条例を制定することを強く要請している。(木田(眞理事))

Q・「良い歯のコンクール」事業について(高麗誠紀北区北支部長)

A・大阪府は今年度の本事業への参画を見送った。今回は様々な方策を検討したが、行政との共同事業という観点から大阪府の方針を止む無く受け入れた。平成二五年度からは安定的に参画できるように強く要請している。(木田(眞理事))

Q・府歯の法人化についての経過報告について(安田共美西淀川区支部長)

A・三層構造を考えると、種々立場の会員を整理・統合したいが、郡市区定款では「郡市区会員は府歯会員・日歯会員になるものとする」程度の表現にしていたきたい。平成二五年十一月には申請を出し、認可を受けることを目指している。(牧野専務理事)

各支部の定款を作成するに当たっては、先行して認可されている三支部の変更された定款を参考にすることも考えていただきたい。(太田会長)

その他として「疾病休業補償制度規定」部改正資料の解説、城村幸治府歯連盟理事長より連盟の活動について、河島保孝国保組合専務理事より国保組合の現在の財政状況と抱える課題についての説明が行われた。

最後に岡本学府歯副会長の閉会の辞で散会となった。

第22回隣接7支部支部長懇談会

(北区北支部・北区大淀支部・東淀川区支部・淀川区支部・西淀川区支部・此花区支部・福島区支部)

H24.8.18

八月一八日(土)午後四時より、福島区のホテル阪神において、第二十二回隣接七支部支部長懇談会が西淀川区支部主幹の下、開催された。

参加支部は北区大淀支部、福島区支部、此花区支部、東淀川区支部、淀川区支部、西淀川区支部と当支部で、当支部より高麗会長、佐々木常務理事が出席した。

まず安田共美西淀川区支部長より挨拶が行われた。現在、公益法人制度改革の最中にあり、どの支部も様々な移行段階にあり、より多くの情報を交換するための、積極的な報告や意見が多かった。

その他の主なテーマは以下の通り

一、口腔保健法の実施について。

各支部足並みをそろえて、制度の勉強、研究を行っていくことで一致

二、よい歯のコンクールについて。

市からの補助金はなくなっているが、事業として今後も続けていくことで一致。

三、入会金見直しについて。下げる方向で各支部調整中。

四、未入会問題。新たな意見や対策はなし。終身会員の年齢引き上げ(日歯に倣い)を検討中

六、府歯役員との懇談会について。連携して上記の問題等について質問する。

法人移行については、既に平成二五年四月の移行が決定している支部、じっくり時間をかけて、任意団体から法人格の取得へと向かう支部、当法人のように移行に向けて大阪府と相談中の支部など進捗状況は様々であったが、当法人は会員と市民の皆さんにとつても良い移行となるように、総務を中心として万全の準備中であることをこの場をお借りしてご報告する次第であります。

最後に、次回主幹の高麗誠紀北区北支部長より閉会の挨拶が行われ、散会となった。

(佐々木常務理事記)

「一般社団法人」 移行についての解説

常務理事 佐々木 裕

昨年、会員の皆様にご承認いただいた「一般社団法人」への移行準備について、進捗状況を報告いたします。

【定款】

(一) 「一般社団法人」

移行申請に必要な新定款を、執行部、顧問公認会計士、司法書士と相談し、理事会にて審議しました。

今まで行ってきた活動が、これからはスムーズに行えることは担保しながらも、法に則った、総会、会計、役員選挙などについて整備しております。具体的に、大きく変わる点として、総会は年1回の決算総会のみになります。理事は選挙で選ばれ、その中で代表理事（会長）を選びます。従って、現在の会長、監事選挙はなくなり、理事選挙を行うこととなります。従来のように会長を直接選ぶ選挙はなくなります。

その他にも細かい変更はございますが、現在の活動が損なわれることはありません。

【会計】

(一) 昨年度決算から、一般社団法人会計基準に則った、会計処理を行っております。

(二) 特別会計を廃止し、一般会計に統合しています。

(三) 公益目的支出計画を策定するため、公益目的財産の確定を進めています。具体的には死亡弔慰金を支払う準備金が除外できるのではないかとということ、大阪府と交渉しています。

(四) 大阪府歯科医師会からのお願いもあり、入金金は減額の方です。日歯は既に大幅な減額が決定しており、府歯も検討中で当法人も内容について協議しております。

以上が現段階での主な進捗状況です。今後も総務担当一丸となって、理事会の審議を受けながら、会員と地域住民の利益を損ねないように、平成二五年十一月までに、よい移行申請がきますよう頑張っております。

北区みんなの健康まつり

H24.10.27

☑HP



一〇月二七日(土) 十二時三〇分より北区民センターにおいて平成二四年度北区みんなの健康まつりが開催された。今年はこれまで以上に幅広い世代(特に若年層)に来場していただくために歯科担当が

ースにおいても様々な趣向が凝らされた。

当日は歯科衛生士会および歯科技工士会の方々のご協力も得て、恒例の歯科相談に加え未就学児対象の無料フッ素塗布コーナーや義歯洗浄コーナーが設けられた。

初の試みに不安視もされたが、各コーナーとも大変好評で特に無料フッ素塗布コーナーでは八三名の来場者があり、成功裏に幕を閉じた。(担当理事・阪本光伸記)

会員懇親会

高級アメリカンコースト
ビーフを鰯腹食す会

H24.11.2

☑HP



十一月二日(金)に毎年恒例の会員懇親会が開催されました。診療後のお疲れのところ、また月初めの大変お忙しい中、約四〇名の先

生方にお集まりいただきました。今年のテーマは「高級アメリカンコーストビーフを鰯腹食す会」ということで梅田のハービス PLAZA ENTの「ロウリーズ・ザ・プライムリブ大阪」で開催されました。

高麗会長の挨拶に続き、三浦康宏先生の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。和やかな歓談の中、お料理は前菜に始まり、サラダ、クラムチャウダースープと続き、メインのローストビーフが登場。「鰯腹」食べて頂くということで、お一

大阪市民表彰



お礼のことば

11班 黒川 森夫

この度、大阪府歯科医師会のご推薦により環境・衛生功労の部門で十一月八日第四七回市民表彰を受賞さ

せて戴きました。

これはひとえに大阪北区歯科医師会の皆様方の多大なご支援、ご協力の賜物と心から感謝致しております。有難うございました。

今後は、微力ではございますが、北区歯科医師会発展のために尽す覚悟でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



間を過ぎ、野口副会長による閉会の挨拶により懇親会は終了致しました。ご出席の先生方、本当にありがとうございました。

(担当理事・土岐一仁)



平成24年度・北歯ゴルフ同好会秋季コンペ成績

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	HCP	NET	次回HCP
優勝	土岐 一 仁	39	43	82	9	73	6
準優勝	松井 重 文	41	41	82	5	77	4
3位	橋本 收	42	42	84	7	77	6
4位	樋口 夏彦	47	53	100	22	78	
5位	上田 祐嗣	50	47	97	17	80	
6位	大塚 安代	47	52	99	18	81	
7位	田中 康隆	44	45	89	6	83	
8位	橋本 哲志	48	44	92	9	83	
9位	渡辺 道雄	45	50	95	12	83	
10位	黒川 晃夫	46	52	98	15	83	
11位	中谷 勝	57	63	120	36	84	
12位	黒川 森夫	55	55	110	25	85	
13位	矢追 秀純	43	52	95	9	86	
14位	大塚 俊裕	46	51	97	9	88	
15位	吉田 皓	45	49	94	5	89	
16位	國田 浩之	57	68	125	36	89	
17位	加納 晴彦	64	60	124	22	102	

ニアピン		樋口、土岐、松井、中谷
ドラコン		大塚安、橋本哲
ドラチョン		渡辺、加納
大波		國田
小波		田中
並び賞		黒川森
ベストグロ		松井、土岐

※北歯コンペは、同ネットの場合の順位はハンディ上位、年齢上位、女性上位の順で決定します。敬称略／順不同

北歯ゴルフ同好会秋季コンペ

H24
9.16

九月一六日(日)に北歯ゴルフ同好会の秋季コンペが開催されました。
今回は田中康隆先生の御厚意により、芦屋カンツリー倶楽部にてプレーすることが出来ました。当日は天候が心配されましたが、問題なくプレーを行うことができました。参加者はメンバー十三名、ビジター四名の合計一七名でINからのスタートで、土岐一仁先生

が優勝、松井重文先生が二位、橋本收先生が三位という結果となりました。次回の春季コンペは平成二五年三月二四日(日)に伏尾カンツリー倶楽部にて開催予定です。奮ってのご参加をお待ちしております。なおゴルフ同好会への入会を希望される先生がおられましたら、土岐一仁先生までご連絡お願い致します。
(樋口夏彦記)

医療保険
ゼミナール

H24.7.30

H24.11.26

HP

【第二回医療保険ゼミナール】

七月三〇日(月)、歯科医師会事務所にて第二回医療保険ゼミナールが開催されました。

今回は、新たに活用しやすくなった「SPT」を中心にゼミナールを進行しました。高麗会長の挨拶の後、「SPT」とは何か、考え方、その算定要件、活用のしかたについて、多くのディスカッションが交わされました。今まで便宜的に「初診」扱いしていたメンテナンスの患者さんに対しても、本来の意味での保険算定が可能であることを知り、出席者も非常に満足の出来るゼミナールとなりました。

【第二回医療保険ゼミナール】

十一月二六日(月)、歯科医師会事務所にて第二回医療保険ゼミナールが開催されました。

今回は、前回非常に有意義だった「SPT」への取り組みをさらに進め、実際の導入、活用、さらに、その中断、終了に至るまでの全ての運用についてディスカッションがなされました。実際の運用ということで、活発な議論がなされ、非常に有意義なゼミナールとなりました。

(担当理事・岡田修一記)

新入会員

1班・橋谷 忠興

(大歯大・平成三年卒)



(診) 中之島センタービル歯科

中之島六二二一七

電 六四四五一二〇四
F 六四四五一二〇五

1班・筒井 純也

(日本大・平成七年卒)



(診) 筒井歯科

中之島二二三二



15班・井上 雅裕

(大歯大・昭和五二年卒)



(診) 井上歯科医院

中崎一四二二〇

電 六三二二〇一二二
F 六三二二〇一二二

訃報



檜山隆一 先生(1班)

平成二十四年七月十九日死去

御略歴

昭和三十三年十二月六日生
昭和五八年
大阪歯科大学卒業
北区中之島・中之島センタ

編集後記

今年も残すところ数日となりました。
来年もどうぞよろしくお願いたします。